



大津小たより

2024. 2. 9

学校で元気になる！



6日(火曜日)の3、4時間目に大津慶友会の皆さんをお招きして1年生との昔遊びを行いました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症のために中止をしておりましたが、昨年より再開しております。遊びの内容は、お手玉、おはじき、あやとり、竹とんぼ、紙飛行機、竹馬、竹ぽっくり、コマ回しなどなど。それぞれの遊びを慶友会の皆さんに教えて頂きました。それぞれの遊びにはコツがあります。コマが上手く回ったり竹とんぼが高く飛んだりするたびに「やったー！」の歓声が上がりました。

印象的であったのは、慶友会の皆さんと1年生の子どもたちの笑顔でした。遊びに夢中になって笑顔になる子どもたち、その様子を笑顔で見守っておられる慶友会の皆さんがとても心に残りました。学校を仲立ちとして地域の方々といろいろな形で交流しながら、子どもたちも大人たちも元気になるようなことができると良いと改めて感じました。**大津小学校に行くと元気になる！**と言われるようにがんばりたいと思いました。

内閣総理大臣賞おめでとうございます



2日に東京の大手町にある経団連会館において秋篠宮紀子様、文部科学副大臣あべ俊子様ご臨席の下、「第69回青少年読書感想文全国コンクール」の全国表彰が行われました。本校3年生の涉千尋さんは、小学校中学年の部の最高賞にあたる内閣総理大臣賞を受賞しました。これは、全国の3、4年生の作品の中からただ一人選ばれていることになっています。島根県からは、全国入賞をすることはあっても、最高賞を受賞する事はあまり聞いたことはないという事でした。島根県としても誇らしいことだという言葉をいただきました。涉さんは、本好きな子どもでいろいろなジャンルの本を読んでもらえますよと学校司書からも聞いて

います。学校での取り組みはもとよりご家庭での読書環境もきっと素晴らしかったのだろうと思っています。涉さん本人の努力と指導に関わられた職員、本作品を推薦して下さった方々に感謝しております。また、読書ボランティアの皆様をはじめ本校の読書活動推進にご協力くださっているすべての皆様にこの場を借りてお礼を申しあげたいと思います。ありがとうございました！そして、おめでとうございます。（写真右側の方は、課題図書『訳された方』です。楽しく作品や感想文についてお話をしてくださいました。また、紀子様からも直接お言葉をいただきました。本人は大変緊張していました。作品を読んでおられて結構な時間、身振り手振りで涉さんとお話されていました。紀子様のお人柄を感じました。）

6年生を送る会代表委員会



20日に6年生を送る会が5年生を中心にして催されます。送る会をとおして5年生はリーダーの自覚と責任感を持っていきます。4年生以下はそのような5年生を見て育ち、6年生への感謝の気持ちを改めて持ちます。6年生は小学校生活を振り返り、また、下級生からのエールを少し照れ臭くさそうに、そして、嬉しそうに受けます。何度その場に立ち会っても卒業式と同じくらい感動を覚えます。それに先立って、各クラスから意見を持ち寄る代表委員会が開催されました。代表の子どもたちは緊張しながらもクラスの意見を発表していました。今年のテーマは「**太陽のようなめくもりで支えてくれた6年生へ恩返しを！**」です。今年久しぶりに全校の子どもたちが集合して開催できそうです。送る会を楽しみにしたいと思います。

雑感

現行の学習指導要領から小学校は授業時間数が増えました。高学年は毎日6時間の授業を受けています。2年生でも6時間目まである日が1日あります。私が子どものころ土曜日は登校日でしたので、6時間目まで授業がある日は週に1回か2回でした。土曜日が段階的にお休みなっていく中で、かつて土曜日で行われていた授業が平日に上乘せされる形になりました。週当たりの授業時間数が増えたわけです。今更、土曜日を登校日に返すこともできませんし大変悩ましいところです。ただ、子どもたちが少しゆとりを持って平日を過ごせると良いだろうと思っています。きっと、違う風景が生まれてくるように感じています。

ご寄付をいただきました

令和五年度大津四十二会 様

大津商工振興会 様

大変ありがとうございました。学校教育充実のために大切に使用させていただきます。